

「びわ湖だからこそ暮らせる水鳥」

多くの鳥にとって大切なのは、びわ湖の岸や内湖にあるヨシ原などの水草帯です。春にはカイツブリやオオヨシキリが子育てをしたり、夏の終わりにはツバメが集まってねぐらを取ったりします。また周りに田んぼや内湖が広がっていることで、びわ湖と田んぼや内湖を行き来して生活している鳥もいます。マガモやカルガモ、コハクチョウやオオヒシクイなどがそうです。びわ湖とその周りには、様々な環境が組み合わさっています。それによって複数の環境を使って生活する鳥たちが住むことができるのです。